

「北区立幼稚園・こども園の園長・副園長及び教員としての資質の向上に関する指標」の策定について

東京都北区教育委員会

今般、教育公務員特例法等の一部を改正する法律の施行により、教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき校長・副校長及び教員としての資質に関する指標の作成が求められています。そこで、北区教育委員会は、「北区立幼稚園・こども園の園長・副園長及び教員としての資質の向上に関する指標（以下、「指標」）」を策定し、教員自らが生涯にわたって、キャリアに応じて求められる資質の向上に努められるようにしました。

北区教育委員会の教育目標

「教育先進都市・北区」の教育は、教育基本法に則り、人間尊重の精神を基調とする。
地域社会の一員としての自覚のもと、ふるさと北区に誇りをもち、自らの力で人生を切り拓き、広く国際社会に貢献することのできる、心身ともに健康で文化的な資質をもつ人間を育成することを目指す。

（平成22年1月28日北区教育委員会決定）

北区教育ビジョン2015より<3つの視点>

【個の成長】

自ら学び・考え・行動する力の育成

変化が激しく、多様化・複雑化する社会にあって
自立し生き抜いていく力を育みます→『まなび』

【協働と貢献】

地域を支え社会に貢献する人づくり

個の成長により活躍の場を広げ、他者と協働し
地域を支え、社会に貢献する人材を育成します。

→『ささえ』

【継承と循環】

世代を超えてつながる学びの創造

教えられた者が教える側へ、世代を超え、
生涯を通じた学びのつながり（教育循環型）
を創造します。→『つなぐ』

北区の園教育に求められる教師像

○教育に対する熱意と使命感をもつ教師

- ・ 幼児に対する深い愛情
- ・ 教育者としての責任感と誇り
- ・ 高い倫理観と社会的常識

○幼児のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師

- ・ 一人一人のよさや可能性を見抜く力
- ・ 教育・保育に関する高い指導力
- ・ 自己研さんに励む力

○豊かな人間性と思いやりのある教師

- ・ 温かい心、柔軟な発想や思考
- ・ 幅広いコミュニケーション能力

○組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高め合う教師

- ・ より高い目標にチャレンジする意欲
- ・ 若手教員を育てる力
- ・ 経営参加への意欲

「東京都教員人材育成基本方針」（平成20年10月 東京都教育委員会）より

指標の「教育課題に関する対応力」の具体的な項目について、以下のとおり、様々な教育課題の中から、北区の幼児教育を推進していく教員に求められる項目を示しています。

なお、各教育課題の解決に実際に取り組んでいく教員と、各教育課題の解決に向けた指導・助言及び組織的な体制づくりを推進する教育管理職とに分けて示しています。

教育課題	教 員	教育管理職
園の安全に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 園の安全管理について教職員間の情報共有を確実に図り、意識を高めるとともに、事件・事故に対して、迅速かつ的確に判断し、対応することができる。 幼児一人一人の健康状況等を確実に把握し、食物アレルギー等に対する知識・理解を深め、適切に対応することができる。 幼児に、安全な生活習慣や態度を身に付けさせるとともに、危険な状況を発見したときは近くの大人に知らせよう指導することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設等の安全管理、事件・事故への対応、食物アレルギー等の学校の安全管理に関する高い見識をもち、安全管理に対して組織的に対応する教員集団を育成するとともに、適切な判断・指示を行うことができる。
人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 幼児一人一人の人権に配慮して指導をすることができる。 幼児に対して、友達のよさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わわせ、自分も他者も大切にしようとする態度を育てることができる。 幼児に、友達との関わりを深めさせ、思いやりやかけがえのない生命を大切にすることを育てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重についての高い見識をもち自園の教育活動において、様々な偏見や差別等をなくす指導ができていけるかを把握し、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。
道徳教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを伝えながら、相手の思いにも気付いて遊ぶ態度を育むことができる。 幼児が周囲の状況を理解し、約束やルールを知って遊ぶ態度を育むことができる。 自然や生き物を通して命を大切にしながら関わる態度を育むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児がよりよく生きるための基盤となる道徳性を身に付けることができるよう、保護者や地域、関係機関等と連携し、教育活動全体を通して豊かな心の育成を図ることができる。
障害のある幼児への多様なニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある幼児一人一人の能力を最大限に伸長するために、当該幼児の実態を的確に把握して関係諸機関と連携を図りながら適切な援助ができる。 保護者と合意形成を図り、障害のある幼児一人ひとりに対して合理的配慮ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育についての高い見識をもち、自園の教育活動において、必要な合理的配慮等が組織的に行われるよう、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。 行政・関係諸機関と連携を密にとり、園の集団の中でふさわしい教育活動を安全・適切に推進することができる。
就学前教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 小学校への滑らかな接続を目指し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の育成に向けた指導ができる。 小学校や関係諸機関と、積極的に交流や連携を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係諸機関と連携した教育のカリキュラム・マネジメント及び教職員に対して適切な指導・助言を図り、就学前教育を推進することができる。
国際理解教育の推進 (オリンピック・パラリンピック教育)	<ul style="list-style-type: none"> 幼児に対して、日本人としての自覚と誇りを涵養し、豊かな国際感覚を醸成することができる。 幼児が他者と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる。 オリンピック・パラリンピック教育の目的や内容を正しく理解し、組織的・計画的に推進することにより、幼児に重点的に育成すべき5つの資質が身に付けられるようにすることができる。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じ、幼児一人一人の心と体に人生の糧となるレガシーを形成するための指導ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化について高い見識をもち、自園の教育活動において豊かな国際感覚を醸成する指導ができていけるかを把握し、教職員に対して適切な指導・助言を行うことができる。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じ、幼児一人一人の心と体に人生の糧となるレガシーを形成させるためにはどのような教育活動ができるかを構想し、自園の教育活動において組織的に推進することができる。